

レ・クレドール ジャパン会報誌 “キー・ニュース”

Les Clefs d'Or Japan

Key News



2025年 第 69号

発行: 今泉愛子

編集: 嵯峨崎のぞみ 米谷紗央里 増田悟

Website : lesclefsdorjapan.com



Les Clefs d'Or Japan



[lesclefsdorjapan](https://www.instagram.com/lesclefsdorjapan)

九州観光機構視察レポート

文:小野山 麻子

九州観光機構の「九州版ゴールデンルート」を軸にした販売促進事業は、海外富裕層(特に欧米・豪市場)を九州に誘客し、福岡を起点にしたショートトリップや広域周遊を促進することを目的としています。東京と大阪で海外ゲストに旅の案内を行っているコンシェルジュからの感想と意見を得たいとの意向を受け、ランドオペレーター事業社であるメディアインターナショナルのご担当者様同行のもと、グランドハイアット東京 今泉愛子さんとコンラッド大阪 小野山麻子で3都市を視察して参りました。

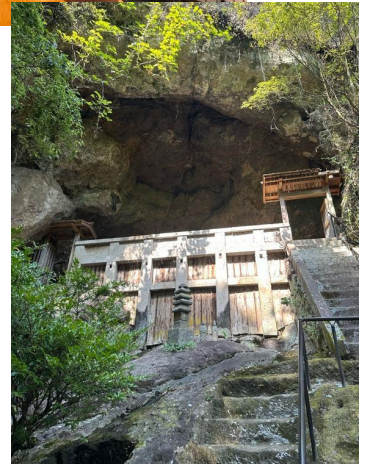


9月9日(月)

今泉さんは成田空港から熊本空港経由、小野山は関西空港より福岡空港経由で新幹線に乗り換え、熊本駅にて合流しました

ランチ「旬彩料理邸宅八伍邸」

あか牛丼など九州の旬の食材を使用した料理を堪能しながら、九州観光機構の担当者を交えて九州観光の現状や視察の目的を伺いました。



フルーツマルシェUFO

熊本県はフルーツ大国でもあるため、くだもの狩りや釣りなども楽しめる涼しげな川沿いのこちらの店舗にて旬のくだものを使ったデザートをいただきました。

霊巖洞

街からそう遠くない場所にある自然の洞窟で、宮本武蔵が人生の晩年にこの地を訪れ、剣術や戦略、哲学について書き残した「五輪書」を書き上げた場所だと伝えられています。「五百羅漢」の彫刻もとても良い状態で保存されていますが、この日はほぼ貸切状態で静かに鑑賞することができ、どこに行っても海外観光客を見かけることが多くなった昨今では穴場スポットだと言えます。

侍体験

熊本市内にある武蔵館道場にて、宮本武蔵・二天一流(鶴田派)第18代宗家であり、無双直伝英信流・居合道の継承も行っている松永哲典様を始め錚々たる現代の侍達に指導をいただきながら、居合道の形の一つを教えていただきました。剣術と言っても人を斬るのではなく、悪い心を斬るという、より日本の「道」の精神を海外のゲストに伝えることを使命とされていることのこと。それでいながらとてもフレンドリーで参加者がより楽しめるように盛り上げようと皆様の姿勢がとても印象的でした。



な雨に強風と山の変わりやすい天候を2回転ほど体感しながら最後は爽快にサイクリングロードを駆け抜け終了。アクティブな欧米豪からのお客様ならきっと喜ばれると思います。元消防山岳救助隊長を努めておられた薄井良文様はチームと素晴らしい連携をとりながら楽しくサポートをしてくださいます。

宿泊「はなれの宿 千の森」

阿蘇くじゅう国立公園内に位置している森の豊かな静けさを感じることでのお宿です。湧水を使ったお風呂や、馬刺し、ご汁豆腐など九州らしい食材が並ぶお食事をいただけます。一棟貸のお部屋には木々に囲まれたテラスもありのびのびと自然を感じることができ、また各棟に岩盤浴のお部屋があるのも嬉しい驚きでした。



9月10日(火)

阿蘇山草原ライド「あそB隊」

電動アシスト付きのマウンテンバイクとはいえ4時間コースと聞くと最初は驚愕しましたが、終えてみると「阿蘇山の様々な表情を最も近くで体感できるのはこれしかない」と思える体験でした。飼育されている牛や馬を見ながら山頂まで一気に上がり迫力の火口を見学、自然にできた洞窟を訪れたり、生い茂る草原を突っ切って走る草原ライドを堪能した後は、気持ちの良い高原で名産の高菜を使ったおにぎりをいただきます。道中、晴れ、曇り、シャワーのよう



高千穂峡

先日の台風の影響であいにく一部の歩道は通行ができなくなりましたが、宮崎県一番の観光地であるこの場所は、雨の平日にもかかわらず多くの観光客が見受けられました。

溶岩が冷却する過程でできる柱状節理と呼ばれる独特の六角形の柱状の岩に囲まれた美しい地形のなか、ボートを楽しむ人たちもいました。

天岩戸神社

御神体「天岩戸」の遥拝所へ案内してくださる御神職のお話は、数ある神話の説明に加えて現代とのつながりも面白おかしく説明していただきます。できればガイドを手配して日本語のわからないお客様にも楽しんでいただきたいと思います。

天安河原(あまやすのかわら)

日本神話に登場する「天照大神」が隠れたとされる場所の一つ。町の至る所でこの神話に関するモニュメントや言い伝えを見聞きすることがあり、ここに住む人々が今も神話とともに暮らしているように見受けられとても興味深かったです。



宿「高千穂 神仙」

ザ・リョカンコレクションの一つでもある宿で、広い敷地内に本館と離れに別れた宿泊棟や日本庭園が点在しています。インルームチェックイン時には丁寧なご案内とともに和菓子とお抹茶が振る舞われ、夕食と朝食は違った風景を楽しめるようにと毎回違うお部屋で、その土地ならではの季節のお料理を味わうことができます。



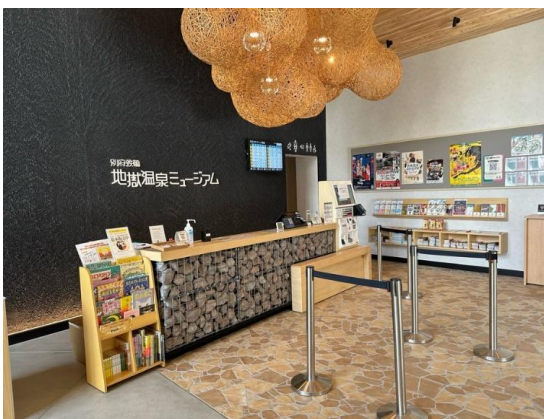


9月11日(水)

別府鉄輪地獄温泉ミュージアム

2022年12月開業の比較的新しい施設ですが、別府温泉の特徴を楽しむ学べると同時に地元の人も普段使いおしゃれなカフェが併設されています。

50年かけて雨の雫が大地に染み込み、温泉となって噴き上がるまでを回遊式やシアター式で様々な部屋を通り抜け体感しながら、楽しく学ぶことができます。シアターの終了後、スクリーンが自動で上に上がっていくと、その向こうに地獄の噴気が勢いよく吹き出ている様子が目の前に現れるという演出は大変驚きがあり、印象に残るものでした。



地獄めぐり

別府を愛して止まない豊島桐子様の軽快なガイドのもと、地獄めぐりの中の2箇所「かまど地獄」と「海地獄」を周りました。「かまど地獄」には昭和感漂う装飾と、石垣まんじゅうや温泉ピータンなどの名物をいただきますながら入れる足湯が特徴です。「海地獄」には目の覚めるようなコバルトブルーの温泉と真っ赤な「赤池地獄」があります。「海地獄」は

鳥居越しや湯煙越し、展望台からなど様々な角度でその美しい姿を楽しむことができ、大きな土産店や温泉の解説ギャラリーもあるので、別府温泉に来た方は必ず訪れるスポットと言えるでしょう。

夜神楽

宿からもほど近い高千穂神社にて、伝統的な神楽を観賞。日中に触れてきた神話をそのまま舞台上で再現、この地域の宿から集まったたくさんの観光客で賑わっていました。舞台上上がるのは神楽を引き継ぐ複数の団体で、毎日出し物は違うとのこと。こうした伝統芸能を脈々と受け継ぐ人がいて、それを支える地元の人たちや観客がいるというのは本当に素晴らしいと思いました。



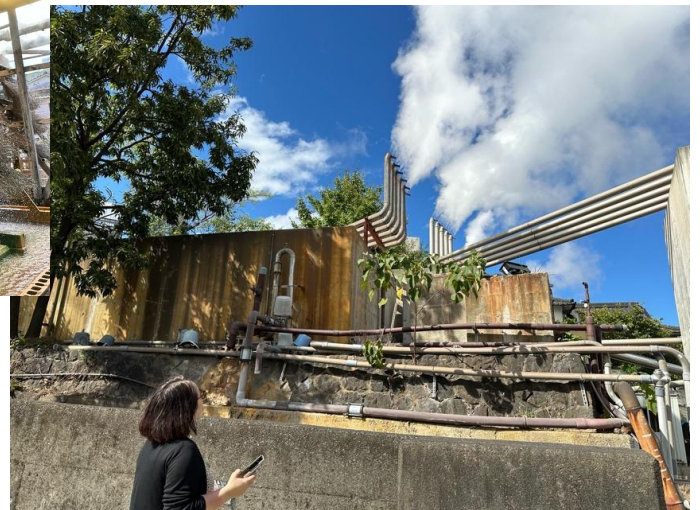
ランチ 地獄蒸し

「地熱観光ラボ縁間」にて地元の食材を使った地獄蒸し料理を堪能、実際に食材を窯に出し入れする作業を体験しました。このお店には他の地獄蒸し料理店にはないメニューとしてピザがあり、もちもちとした食感がとても美味しかったです。



その後少し時間に余裕があったため、豊島さんが地元の人だからこそ知るローカルな見どころを案内してくださいました。地元の人が通うお家の中に併設されている温泉施設や、温泉を伝えることで冷却する装置など温泉地ならではのワクワクするような裏路地めぐりとなりました。

九州はアジアの国々には今や人気の旅行デスティネーションとして知られて久しくなりましたが、やはり欧米豪からの観光客は東京や大阪に比べるとかなり少ないと感じました。リピーターが増えれば増えるほど、こうした隠し球となるスポット情報がコンシェルジュとして重要になると思います。そのために今回気づいた改善点や、受け入れ側が知るべきこと、準備すべきことなどコンシェルジュ目線でできる限りのフィードバックをすることを約束して、各自福岡空港から帰路に着きました。



ザ・リョカンコレクション 懇親夕食会

文:住吉真矢子

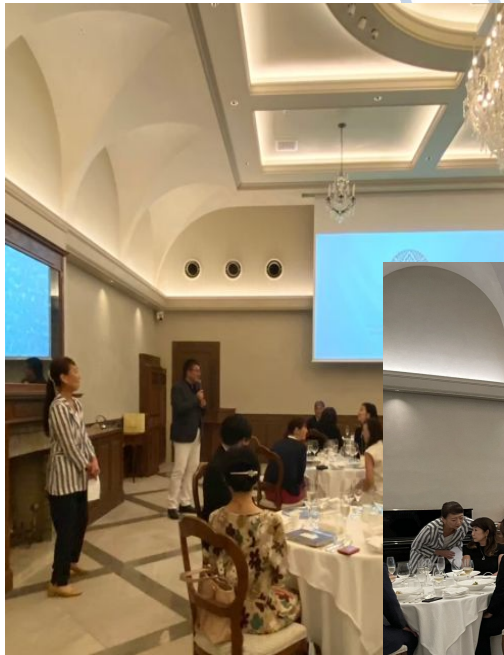
2024年9月10日(水)ザ・リョカンコレクション様よりお声がけをいただき、レ・クレドールジャパン+ザ・リョカンコレクション・合同勉強会及懇親会ディナーに8名のメンバーが参加してまいりました。

今回は改装を済ませた「レストランテASO代官山」で開催され、ザ・リョカンコレクションに加盟している15施設の皆様と貴重な交流を図る機会となりました。

各施設の新たな取り組みなどを共有いただき、お客様をご案内する上で参考となる情報を沢山教えていただきました。新たに加盟された施設もいらっしやり、偶然にも当日レ・クレドールメンバーが視察でお世話になっている施設の方もご参加くださっていたため、嬉しいご縁に話が盛り上がっていました。

私たちメンバーは毎年のこの機会を楽しみにしておりまして、久しぶりの再会を喜び、こちらの繋がりでお客様を安心してご案内できる機会を大切にしております。

今後も日本を訪れるお客様へ特別な体験が提供できるよう、ザ・リョカンコレクション加盟施設の皆様とは引き続き強固な関係を築いてまいります。



CRS活動 Keys for Trees プロジェクト

文: 亀井 理世

レ・クレドールのCSR活動”keys for Trees” プロジェクトとして、石川県の能登にて植樹を行いました。

石川県の木であるあての苗木を森へ植樹し、その後、能登の復興を祈念したシンボルツリーも植えさせていただくことが出来ました。

一朝一夕にはできない森づくり。人と森をつなぎ、次世代に未来をつなごうとされている方々の熱い想いを身近に体感することのできるとても貴重な一日となりました。

また、能登半島地震への義援金として、4月に開催したオークションで会員から集めた義援金と、レ・クレドール チャイニーズタイペイのメンバーからいただいた義援金を、能登半島広域観光協会理事長の多田様にお渡しすることができました。

今回の実施にあたり、多大なるお力添えをいただきました加賀木材様、能登森林組合の皆様深く御礼を申し上げますと共に、能登地域の日も早い復興を心より祈念いたします。



レ・クレドールジャパン 27周年アニバーサリーディナー

文: 増田 悟

レ・クレドールジャパン27周年アニバーサリーディナーを、THE OSAKA STATION HOTEL, Autograph Collectionにて開催いたしました。この特別な夜は、豪華な空間と贅沢なお食事が彩りを添え、参加者全員にとって忘れられないひとときとなりました。

会場は、洗練されたインテリアと温かみのある照明が調和し、まるで夢のような雰囲気になっていました。シェフが腕によりをかけて用意した料理は、見た目も味も素晴らしいものでした。レ・クレドールジャパンと日本でのコンシェルジュサービスの今後の発展を誓い合い、あたたかさに包まれた特別な時間でした。



Getting to know our members!



ウェスティンホテル大阪 チーフコンシェルジュ 西川 知良

コンシェルジュ歴 21年
レ・クレドール歴 14年

ホテルのハイライト

大阪の中心地 梅田の近くにありながら緑に囲まれています。隣には大阪観光のハイライトであるスカイビルがあり観光にも便利。改装された客室では水の都を表したモチーフとウェスティンブランドのエッセンスの両方を感じることができます。安土桃山時代をコンセプトに館内には関連の美術品や古文書も多数ありアートガイドツアーも人気の1つです。

休日の過ごし方

もっぱらクラシック音楽を聴いて過ごします。イタリアオペラを聴けば前世は、イタリア人ではないかと思い、ドイツ音楽を聴けば自分の体のどこかにドイツの血が流れているのではないかという錯覚に陥ります。ただモーツァルトは特別で、彼の音楽からは人間ではない何か、神か、あの世か、説明のつかない存在を強く感じます。音楽の美しさを発見した時は自分が自分で良かったと再確認できる瞬間であり、休日に自分を取り戻す大切な時間なのです。

お気に入りの場所

藤田美術館は国宝9点を含む東洋古美術を中心としたコレクションを有し、世界に3つしかない曜変天目茶碗を所有している美術館です。質の高い美術品を鑑賞できるにもかかわらず混みあっておらず休館日は年末年始だけです。さらに「おすすめの日本庭園」というキーワードだけでも紹介する価値がある美術館です。またモダンな空間で提供されるお団子と現代作家の器でいただく日本茶も見逃せません。

お気に入りのレストラン

美味しいたこ焼きが食べたければ郊外に行け！

大阪では自宅の最寄り駅近くのお店で出来立てのたこ焼きを買って帰ることが多くおすすめの店は郊外に多くなってしまいます。阪急電鉄淡路駅から徒歩3分の「たこやん」はまさにそのニーズに応えるお店。ぜひ皆さんも遠回りしてでも立ち寄ってみて下さい。

定例会報告

9月

9月の定例会は、ホテル ニューオターニ宴会場シリウスの間に開催されました。

・九州観光機構視察に関して報告がありました。* 詳しくはレポートの記事を参照

・2025年1月のセミナーにおいて各メンバーの担当の割り振りを決め、セミナー2日目に予定されているグループワークにどのように取り組むかを、メンバーで話し合いました。

・CSRイベントの一環として11月に開催を予定している能登半島での植樹の詳細スケジュールのシェアがありました。

・第2部のミーティングでは、アフィリエイトから最新情報が提供され、メンバーたちは日々の業務に役立つ情報交換や、問題解決のための意見を交換しました。



10月

10月の定例会は、ヒルトン東京の宴会場(菊)で行われました。

・先日(9月24日)東武日光スペース試乗体験に参加したメンバーより報告がありました。

・CSRの一環として、11月に予定している能登半島での植樹について最終の案内、ならびにチャリティマイルの報告がありました。

・レ・クレドール ジャパン 日本コンシェルジュ協会 共催セミナーのワークショップについて再度メンバー同士で、今回のセミナーを成功させるための方向性を統一するための意見を出し合いました。

・精進料理醍醐の4代目店主・野村祐介様にご登壇いただき、お料理へのこだわりや想い、ヴィーガンと精進料理、食文化の違いなどにについてお話いただきました。



定例会報告

11月

11月の定例会は、大阪箕面市の勝尾寺にて開催されました。

・住職の小嶋隆文さまより勝尾寺は「勝ちダルマ」で有名で、境内には多くのダルマが奉納されていることや、また、四季折々の花々が楽しめる美しい庭園も魅力の一つであること、勝ちダルマは、願い事を書いて片目を入れ、願いが叶った際にもう片方の目に墨を入れて奉納する風習があることなどをお話いただきました。ダルマは自分の弱い心に打ち勝つという意味を持ち、多くの人々に勇気と希望を与えています。とても刺激的な時間を過ごすことができたと同時に、小嶋さまのお人柄にもたいへん感動いたしました。

・第2部では、丸紅株式会社の寺内様から、今年開催の大阪・関西万博でお披露目される「空飛ぶ自動車」についてご紹介いただきました。機体は、滑走路を必要とせず、バッテリーで飛行するため環境に優しく、静かな運航が可能。今後の観光分野などでの利用が期待され、空飛ぶ自動車の普及により、都市の渋滞緩和や過疎地での輸送手段の創出など、さまざまな社会的課題の解決が期待されます。



12月

12月の定例会は、横浜にあるエコファニの貸会議室by三菱地所ルーム2Cにて開催されました。

・第1部では1月セミナーで行うワークショップのテーマについてのディスカッションを行いました。

・第2部ではレ・クレドール ジャパンのアフィリエイトでもある、グローバルブルーTFS株式会社の反町様による、免税に関するプレゼンテーションがありました。

事業のきっかけや、トレンド、普及率や日本の免税制度について詳しくお話頂き、課題や今後の対策も伺いました。また大阪万博を誘引剤となり日本の景気アップが予想されており、少しだけ明るい兆しが見えた気がします。

